



校報

水糸者

No. 1315

元年度・第174号

6年生の皆さん、卒業おめでとう!

◇◇◇成長と感謝を伝えた、涙・涙の第111回種市小学校卒業証書授与式◇◇◇

新型コロナウイルス感染症予防のために「臨時休業日」が続き、卒業式の実施が危ぶまれましたが、風もない穏やかな春の日ざしの中、3月19日に「第111回種市小学校卒業証書授与式」を挙行することができました。

卒業式の練習を何1つやっていない中、迎えた本日の卒業式でしたが何事もなかったように堂々と、落ち着いて式に参加している6年生からは、種小の最上級生の役目をこの1年務めあげて来た自信と誇りを感じました。

六	五	四	三	二	一	式
閉式	校	校	卒	国	開	次
の	長	長	業	歌	式	第
言葉	式	式	証	斉	の	一
葉	辞	辞	書	唱	言葉	同
	歌	授	授			礼
一		与	与			礼
同		式	式			
礼						



無事に卒業式も終了し、いろんな思いがたくさん詰まった記念撮影となりました。



卒業証書をもらうために登壇して来る卒業生の姿は、6年間の学校生活を充実してやり遂げた人にしかできない、自信と誇り、そして卒業の喜びに満ち溢れた、実に輝いた姿でした。

6年間の学校生活の思い出が詰まった呼びかけや歌、在校生の卒業生に対して感謝を伝える歌や呼びかけなどは、今年度の卒業式ではできませんでしたが普段の学校生活でよく泣いていた、よく笑っていた6年生に相応しい温かい卒業証書授与式になりました。

学区民みんなに育てられた、地域の宝物でもある6年生が、種市小学校で学んだ「自信と誇り・夢」を胸に、第6461号から第6491号となる31枚の卒業証書を手を、種市小学校から旅立ちました。



6年間の思い出を胸に入場する卒業生。



令和最初の卒業証書を授与される卒業生。



おうちの人に、感謝を込めて卒業証書を渡しました。



例年なら種小を支えてくれた70名を超えるご来賓、地域の方々が、卒業生の門出を見守っていましたが、今年度は林剛敏教育長さんがお一人で見守ってくれました。



式後の記念撮影が終了した時、突然卒業生保護者から教職員に対しての「お礼のことば」とお花をいただく、「サプライズ」がありました。

〔卒業証書授与式・校長式辞（要旨）〕

皆さんの修学旅行は、釜石で開催されるWカップラグビーに被災地代表の小学生として参加し、「東日本大震災」の時に世界中の人々からいただいた支援に対する感謝と、ここまで復興出来てきた事を世界中の人に伝える役目もありました。しかし、台風19号のためにその役目を果たすことができなくなりました。

今日の卒業式も今まで頑張ってきた皆さんの前途を祝し、例年通り盛大に開催するはずだったのですが、新型コロナウイルス感染症予防のために例年通りの卒業式とはなりませんでした。

残念、くやしい、寂しい… そんな思いでいっぱいだったこととでしょう。

今日現在、地震を予知することや台風や津波の規模や進路をかえる事、新型コロナウイルス感染症の薬の開発する事は、世界中の学者、研究者が挑戦し続けていますが、まだできていません。

ですから、皆さんには世界中から残念な思いをする人がいなくなるために、しっかりと勉強をしてほしいと願っています。さみしい思いをする人、残念な思いをする人、涙を流す人がいなくなる社会を作るために、しっかりと勉強をしてください。勉強というのは、隣にいる人を笑顔にするために行うものです。多くの人を幸せにするために行うものです。

皆さんは今日で小学校を卒業し、4月からは中学校という新しい舞台で活躍をしていくこととなります。一步一步成長し、確実に大人となっていきます。大人になるということは、決して楽しい事ばかりではありません。むしろ辛いことや嫌なこと、悩む事の方がぐんと増えると思います。想像もできなかった「まさか」と「答えのない問い」の連続のはずです。

「まさか」、「答えのない問い」に備えるためにも、たくさん勉強をしてください。たくさん勉強をし、皆さんの中からドラえもんやアンパンマンのような人がたくさん出てくることを願っています。

種市小学校には古くから「わからん時は教えっこ、うれしい時ははしゃぎっこ、困ったときは助けっこ…」という言葉が残されています。

楽しい時、うれしい時があった時にはたくさん笑う人になってください。

わからない人がいる時は、教えてあげる人になってください。

困っている人がいる時は、助けてあげる人になってください。

校長先生の自慢の六年生とのお別れは辛いものがありますが、今日は笑顔で皆さんを見送ります。

